

えぐね

「えぐね」は、日本三大散居村の地、胆沢扇状地の屋敷の北西側に木を森のように植えて、冬の季節風から屋敷を守る防風林です。快適な住環境を形づくり、日本の原風景を代表する景観を生み出しています。本校が胆沢の地や人々にとってなくてはならない「えぐね」のような存在であり続けたいと願い、校報の名前にしています。〈学校HP [tps://isawachu.edumap.jp](https://isawachu.edumap.jp)〉

新入生保護者説明会で

説明会を26日に開催しました。あいさつの中で、校長から新入生に伝えていきたいと思っていることを話しました。その内容です。

中学校は、自分が学んだことを使い、みんなで成長する場所です。教科書の内容そのものは当然大切にします。内容を身につけた上で、学んだことをどう使うのか、を大事にしたいと思っています。生徒会活動や学校行事、校外活動や家庭でのことを含めた毎日の生活を通じて、一人ひとりが成長を感じ、みんなで学ぶ場所にしたいと願っています。新しい環境で、仲間との学びがある中学校生活をつくりあげてほしいと思っています。

全日本 農はだてのつどい



写真は実行委員会からの依頼で、創作部と生徒会執行部が制作したものです。初めてでしたが、工夫して創り上げました。11日のまつり当日に会場に設置する計画です。せっかくの作品ですので、中央階段付近に展示しました。現状でも美しく仕上がっていますが、完成するとまた違った良さが表れてくると思っています。ぜひ会場でご覧ください。

レシピコンテスト表彰

28日の胆江地区学校給食校協議会研究大会において、給食レシピコンテストの表彰が行われました。本校から、渡辺陽向さんが会長賞、平石麻衣さんと高橋隼人さんが優秀賞を受賞しました。おめでとうございます。

今回は、家庭科授業の発展として、それぞれが地場産物利用や朝食用などテーマを選んで

作成したレシピです。学習した事柄を踏まえ、実生活に応用したものとなっていました。

期末テストに向けて

今年度最後の定期テスト（16日～17日）が近づいてきました。テストにはいろいろな意味が含まれますが、自分がどこまで到達しているのか、できていないところはどこなのかを確認することも、大きな目的です。しっかり取り組んでほしいと思います。中学校時代にきちんとやった勉強は無駄になりません。

ご家庭でも、テストについて、ご家族の経験や子どもへの思いを伝える時間をとっていただければと思います。そして、テストに向けた環境づくり（規則正しい生活：食事と睡眠のリズム、動画視聴・ゲーム・SNS等の適度な利用）へのご協力をお願いいたします。

安全な生活を

1月末から2月にかけて、運動中や休み時間のけがの報告が続いています。雪や氷のある状態がまだ続く時期です。車の乗降時を含め、安全には十分気を配らせたいところです。

学校部活動について

本校では、部活動には大きな価値があること、人間形成の場であり、豊かな学校生活を

実現する役割を担っているものとして、よりよい活動をめざした取組を進めています。また、地域の組織や団体の活動を優先させたい場合には、部に所属しないことを可能とする対応もとってまいりました。

このことについて、現在示されている行政の諸指針を踏まえ、4月から、いずれにも所属しないことを可能とする形へ移行することといたします。本校では、これまで通り入部を奨励し、部ごとの練習や活動を支援していきます。それと同時に、校内及び校外の組織や団体のいずれにも所属しないことに対応することを、明確にするものです。

高1調査⑦「受動喫煙」

家族の吸ったたばこの煙を吸い込んだことの有無

ある 27.9% ない 71.3%

↓

誰の吸ったたばこか

父親 76.8%

母親 28.3%

同居家族 9.2%

来客その他 13.6%

望まない喫煙（受動喫煙）はなくするのが原則であり、成長期の子どもには健康影響が大きいことも、対応を考える視点になります。

また、たばこはゲートウェイドラッグとしても位置付けられており、薬物乱用防止の観点からの危険性が指摘されています。